

昭和前編 主要目次

序章 昭和前期の世界情勢と日本

第一節 ワシントン体制 第二節 満州事変 第三節 深まる大陸関与 第四節 第二次世界大戦へ

第一章 財団法人拓殖大学

第一節 東洋協会大学から拓殖大学へ——学園の基盤構築 第二節 拓殖大学専門部の設置 第三節 三代学長後藤新平の遺した もの 第四節 四代学長永田秀次郎——文部省思想管理体制下の大学経営 第五節 昭和期の学監たち 第六節 昭和前期の教員の横顔 第七節 専務理事大蔵公望の改革路線 第八節 専門部開拓科・武徳科（司政科）の設置 第九節 戦時教育体制への序奏——教育審議会の設置 第十節 戦時下の大学 第十一節 五代学長宇垣一成

第二章 地域研究の学統

第一節 本学地域研究の淵源 第二節 朝鮮研究 第三節 満州研究 第四節 中国研究 第五節 南洋研究 第六節 ロシア研究 第七節 南米研究 第八節 イスラーム研究 第九節 その他の地域研究

第三章 昭和前期の学生生活

第一節 麗澤会・拓殖研究会・報国会 第二節 寮・塾生活 第三節 学生の諸活動 第四節 学生諸団体の海外研修 第五節 戦争と学徒

第四章 昭和期における東洋協会事業

第一節 業域の拡大 第二節 昭和期の海外兄弟校

第五章 海外に雄飛する卒業生

第一節 台湾 第二節 朝鮮 第三節 満州 第四節 中国 第五節 南洋 第六節 その他外国 第七節 日本の敗戦と外地

終章 終戦と大学

第一節 戦災を蒙った学園 第二節 それぞれの八月十五日

附 拓殖大学戦没・殉難者一覧